

### ワイヤレス混合分配器

品番 **WX-R901**

# RAMSA



上手に使って上手に節電

#### 保証書別添付

- このたびは、ワイヤレス混合分配器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4～5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
  - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# はじめに

## 商品概要

- 本機は、FPU-2帯（779 MHz～788 MHz）、FPU-4帯（797 MHz～806 MHz）、B帯（806 MHz～810 MHz）対応のダウンコンバーター方式のアンテナ用混合分配器です。アンテナをA系・B系の2系統接続し、ダイバシティ方式のワイヤレス受信機と接続します。
- 本機1台でアンテナを4本まで接続でき、同じ帯域（バンド）のワイヤレス受信機を最大4台まで接続することができます。
- アンテナへの電源供給状態を、前面パネルの表示灯で確認できます。
- ダウンコンバーター方式のアンテナ\*を使用すれば、受信感度設定によりアンテナの受信感度のリモート制御が可能です。（※該当品番：WX-RAX922/L、WX-RAX922/H、WX-RA922/L、WX-RA922/H、WX-RB922：別売品）

注：本書に掲載している別売品の品番は、2004年11月現在のものです。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）	……………1冊	以下の付属品は取付工事に使用します。	
保証書	……………1枚	ラック取付用ねじ（バインド小ねじM5×12）	…4個
ACケーブル	……………1本	ゴム足	……………5個

## 免責について

- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  - ②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など
  - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
  - ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことで被る不便・損害・被害
  - ⑤第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - ⑥第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害
  - ⑦故意または偶然の結果、通話内容が第三者に傍受・漏えいすることによる不便・損害・被害  
本商品の無線通話はアナログ方式を採用しており、傍受を抑止する機能はありません。故意または偶然の結果、第三者が傍受し、通話内容を知り得ることがあります。

## 記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



**重要**：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

# もくじ

## ご使用前に

はじめに .....	2
商品概要 .....	2
付属品をご確認ください .....	2
免責について .....	2
記号について .....	2
<b>もくじ</b> .....	<b>3</b>
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>4</b>
取り扱い上のお願ひ .....	5
<b>各部のなまえと働き（前面パネル）</b> .....	<b>6</b>
<b>各部の名まえと働き（背面パネル）</b> .....	<b>7</b>

## 設置・設定

<b>設置を始める前に</b> .....	<b>8</b>
設置上のご注意 .....	8
<b>ラックマウントのしかた</b> .....	<b>9</b>
<b>接続のしかた</b> .....	<b>10</b>
2波受信の場合（アンテナ数6本、本機2台使用の例） .....	10
<b>受信感度を設定する</b> .....	<b>11</b>

## その他

<b>故障とかわれましたら</b> .....	<b>13</b>
<b>仕様</b> .....	<b>15</b>
<b>保証とアフターサービス</b> .....	<b>裏表紙</b>

ご使用前に

設置・設定

その他

# 安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

## ⚠ 警告

### 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

### アースを確実に取り付ける



本機の電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。アースは確実に行ってご使用ください。アースを取り付けないと、故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。

- アース工事は販売店にご依頼ください。(アース工事費は、本製品の価格には含まれていません)

## 取り扱い上のお願ひ

### ● 電源について

- ご使用の電源は、AC100 V (50 Hz/60 Hz) です。ご使用後は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- 電源スイッチをOFFにしても、電源からは遮断されません。(電源表示灯が消灯していても電源が遮断されているとはかぎりません。) 電源を遮断する場合は、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

### ● 使用温度範囲は

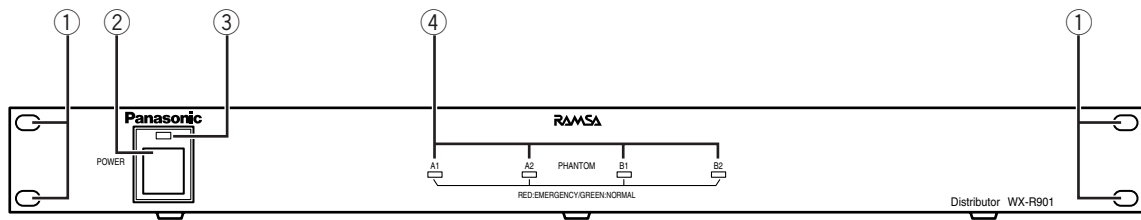
- $-10^{\circ}\text{C}$ ~ $+50^{\circ}\text{C}$ です。この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。

- 本機をパワーアンプなどの発熱する機器と一緒にラックに取り付けている場合は、ラック内の温度が $+45^{\circ}\text{C}$ を超えないように通風や換気をよくしてください。

### ● お手入れは

- 電源コードをコンセントから抜いて、乾いた布でふいてください。汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤(中性)をやわらかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いたやわらかい布で洗剤を完全にふき取ってください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

# 各部のなまえと働き (前面パネル)



## ① ラックマウント用取付穴

本機をラックに取り付ける際に使用します。詳しくは、「ラックマウントのしかた」(9ページ)をお読みください。

## ② 電源スイッチ [POWER]

本機の電源をON/OFFします。

## ③ 電源表示灯

電源スイッチ②をONにすると緑色に点灯します。OFFのときは消灯しています。

## ④ ファンタム電源表示灯 [PHANTOM A1、A2、B1、B2]

各アンテナへの電源供給状態を表示します。

緑色：正常に供給している状態

赤色：異常供給状態

※この場合、必ず電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。

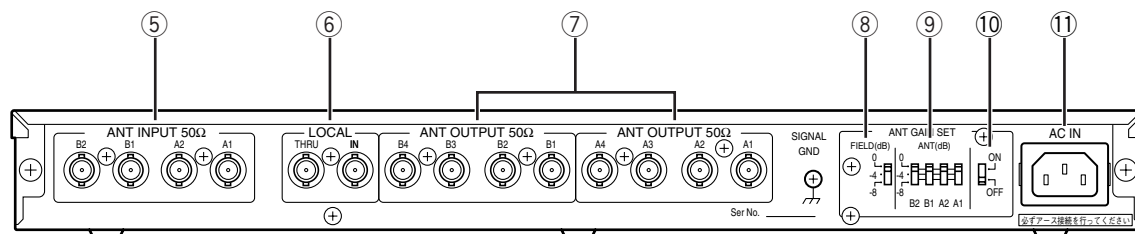
消灯：電源を供給していない状態（アンテナを接続していない場合も含む）



- 電源を切る手順は、必ず「パワーアンプの電源OFF」→「本機およびワイヤレス受信機の電源OFF」としてください。逆順にすると、スピーカーからノイズが出る場合があります。
- 本機やワイヤレス受信機が複数台で構成されている場合も、同様の手順を守ってください。
- 運用中に本機やワイヤレス受信機の電源は切らないでください。受信中にシステムを構成しているうちの1台でも電源を切ると、ノイズが発生したり受信できなくなったりします。

# 各部のなまえと働き (背面パネル)

- 重要**
- 接続については、「接続のしかた」(10ページ)をお読みください。
  - 設定については、「受信感度を設定する」(11～12ページ)をお読みください。



- ⑤ **アンテナ入力コネクタ** [ANT INPUT 50 Ω A1、A2、B1、B2]  
アンテナからの同軸ケーブル (50 Ω) を接続します。また、本機を複数台使用して、受信信号を混合するとき 사용합니다。  
※同軸ケーブルは50 Ωを推奨しますが、75 Ωでも使用できます。
- ⑥ **ローカル入出力コネクタ** [LOCAL IN、THRU]  
ワイヤレス受信機 (WX-R822 : 別売品) と接続します。また、本機を増設するとき 사용합니다。
- ⑦ **アンテナ出力コネクタ** [ANT OUTPUT 50 Ω A1、A2、A3、A4、B1、B2、B3、B4]  
ワイヤレス受信機 (WX-R822 : 別売品) と接続します。また、本機を複数台使用して、受信信号を混合させるとき 사용합니다。
- ⑧ **フィールド感度切替スイッチ** [ANT GAIN SET FIELD (dB)]  
アンテナで受信する感度を設定します。A系・B系の両方が同じ設定になります (11～12ページ)。
- ⑨ **アンテナ感度切替スイッチ** [ANT GAIN SET ANT (dB) A1、A2、B1、B2]  
A系・B系アンテナごとのアンテナ感度を設定します (11～12ページ)。
- ⑩ **リモート制御ON/OFFスイッチ** [ON、OFF (dB)]  
本機にアンテナ (WX-RAX922/L、WX-RAX922/H、WX-RA922/L、WX-RA922/H、WX-RB922 : 別売品) を接続し、フィールド感度切替スイッチ⑧と、アンテナ感度切替スイッチ⑨で感度を切り替える場合にONにします (11～12ページ)。
- ⑪ **ACインレット** [AC IN]  
AC 100 V (50 Hz/60 Hz) を入力します。



# 設置を始める前に

## 設置上のご注意

### ●工事は必ず販売店に依頼してください

工事を行う前に、「安全上のご注意」(4~5ページ)をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

### ●工事は電源を入れないで行ってください

工事は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また本機に接続されているミキサーやアンプなどの電源も切ってから行ってください。接続時にスピーカーから大きなノイズが出て、機器の破損につながります。

### ●以下の場所には設置しないでください

- ①直射日光の当たる場所
- ②振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ③スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ④結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気(湿気)の多い場所
- ⑤厨房など蒸気や油分の多い場所
- ⑥傾斜のある場所

### ●雑音源を避けてください

電灯線などの雑音源に同軸ケーブルや電源ケーブル、マイクケーブルを近づけると、音声信号にノイズが発生する場合があります。その場合は雑音源からできるだけ離すように配線するか、本機の位置を変えてください。

### ●横置き(水平)に設置してください

縦置きや傾けて設置しないでください。故障の原因となります。

### ●ラックに取り付けるときは

- 本機をラックに取り付ける場合は、必ずEIA規格相当のラック(奥行き450 mm以上)をご使用ください。
- ラック内の温度が+45℃を超えないようにしてください。内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。
- 本機は、できるだけラック下側に取り付けてください。

### ●アンテナは

- アンテナはダイバシティ方式で受信可能なように必ずA系・B系各1本以上で計2本以上、偶数本で使用してください。
- 確実に受信するために、アンテナはワイヤレスマイクから直視できる位置に設置してください。アンテナ付近に障害物があると、到達距離が短くなることがあります。また、十分なダイバシティ効果を得るために、2本のアンテナ間隔は2 m以上60 m以内にしてください。詳しくは、ワイヤレス受信機(WX-R822)の取扱説明書をお読みください。
- モルタル壁へのねじによる直取り付けはしないでください。

### ●近くの妨害電波について

近くに別のワイヤレスシステムや、高周波を使う機器がないことを確認してください。やむをえず妨害電波の近くで使用する場合は、周波数が重複しないようにチャンネルプランを策定するか、またはワイヤレスマイクとアンテナの距離(到達距離)を短くしてご使用ください(到達距離は雑音源の大きさにより左右されます)。また、テレビ局や携帯電話基地局などから強い電波が出ている場合にも、到達距離が短くなることがあります。到達距離については、「受信感度設定の目安」(11ページ)をお読みください。

### ●電源について

- 本機は、コンセントや電源制御ユニットに容易に手が届く場所に設置してください。
- アース接続は必ず主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。接続については、「接続のしかた」(10ページ)をお読みください。

### ●接続について

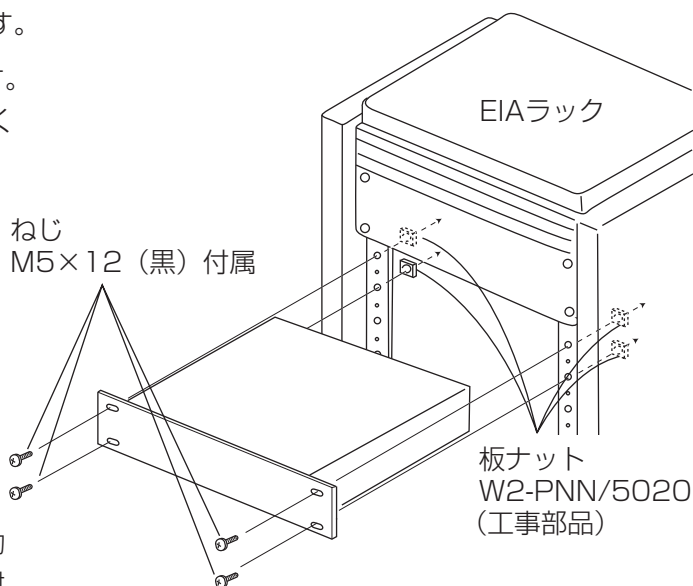
- 本機に接続するアンテナは、WX-RAX922/L、WX-RAX922/H、WX-RA922/L、WX-RA922/H、WX-RB922、WX-RB910です。ワイヤレス受信機は、WX-R822です。(すべて別売品)
- 本機とアンテナを接続する同軸ケーブルは、50Ωのものを推奨しています。推奨品番については、「受信感度を設定する」(11ページ)をお読みください。
- 同軸ケーブルとコネクタの処理は、確実に行ってください。不完全な場合は、感度の低下や外来ノイズによる妨害が起こります。詳細はワイヤレス受信機(WX-R822:別売品)の取扱説明書をお読みください。



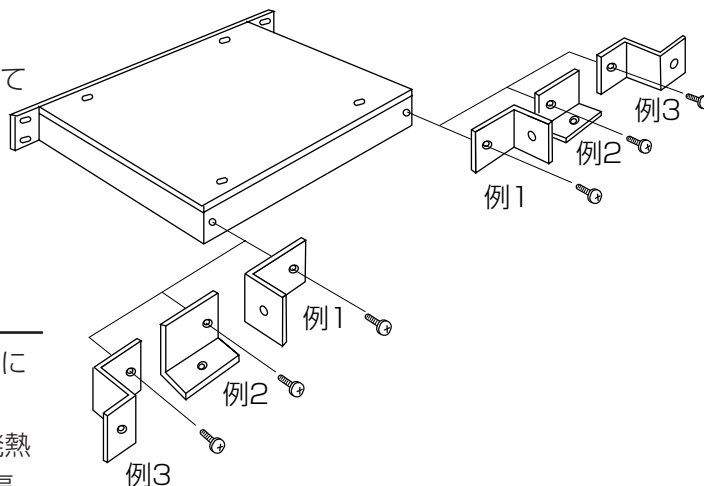
# ラックマウントのしかた

本機をEIA規格相当のラックに取り付けることができます。

- ① M5×12 (付属) のねじでEIAラックに取り付けます。取付ねじはゆるまないようにしっかりと締めつけてください。
- ラック側にタップが切っていない場合は、板ナット (W2-PNN/5020 : 別売品) を使用して取り付けます。



- ラックに収納しトラックなどで輸送する場合、振動衝撃を受け本機を破損する恐れがあります。補強対策としては、輸送用補強アングル (現地製作) でラック本体に固定して輸送してください。
- 補強アングルは鉄板 (板厚2 mm以上) を使用してください。
- アングル固定用のねじが必要です。  
例1 : ラック側面に取り付ける場合  
例2 : ラック底面に取り付ける場合  
例3 : ラック後面に取り付ける場合

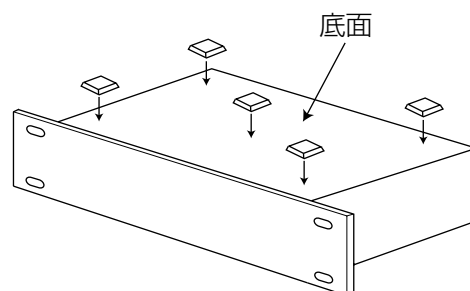


**重要**

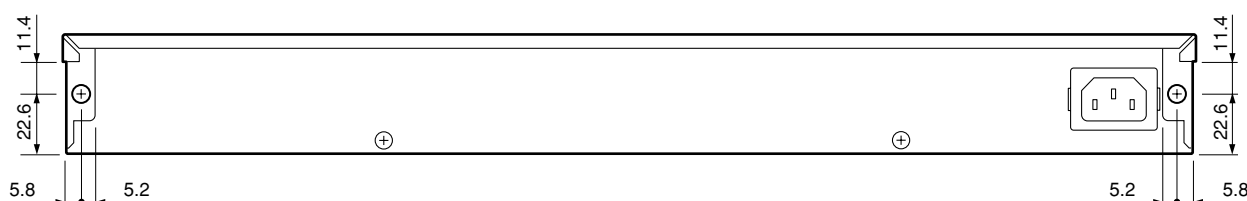
- ラック内の温度は、+45℃を超えないようにしてください。
- ラック取り付け時は、パワーアンプなどの発熱する機器よりも本機を下側に、1U以上の間隔を開けて取り付けてください。

## ●据え置きする場合

付属のゴム足を本機底面に取り付けます。



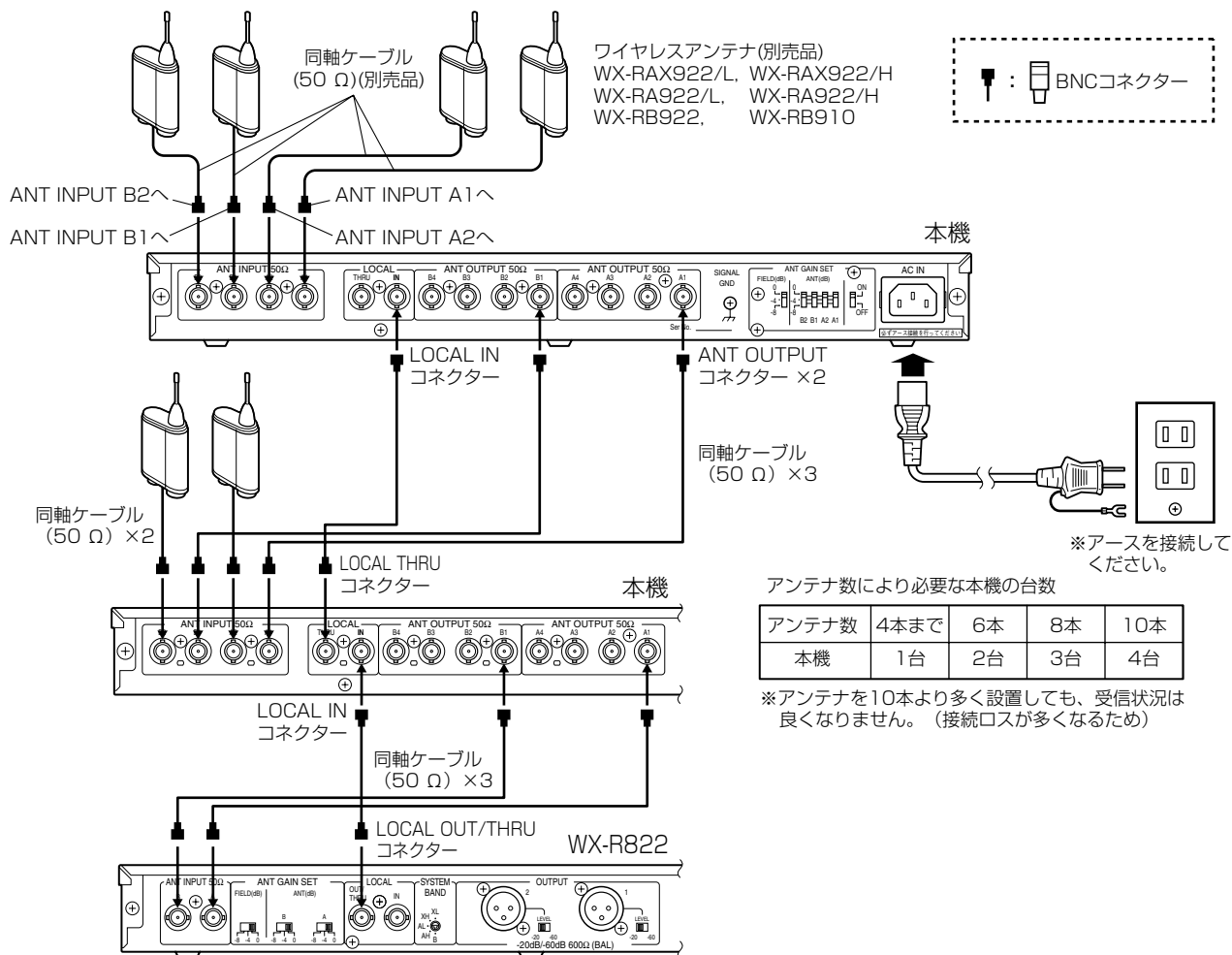
## ●本機の後面取付穴位置寸法図



# 接続のしかた

## 2波受信の場合（アンテナ数6本、本機2台使用の例）

- ・アンテナが4本以上の場合、本機を用いて接続します。本機1台でA系2本、B系2本のアンテナを接続することができます。アンテナをA系・B系各1本ずつ増やすごとに、混合用に本機の増設が必要です。
- ・本機1台で分配できるワイヤレス受信機は、WX-R822（別売品）で4台（7波）までです。
- ・3波～7波受信の場合の接続のしかたは、WX-R822の取扱説明書をお読みください。



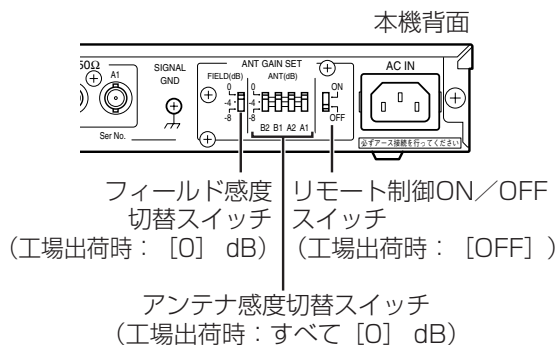
- **重要** 接続していないアンテナ入力コネクターには終端抵抗（50 Ω）を接続しないでください。
- アンテナが直接接続されている本機のローカル入出力コネクターは、必ず接続してください。その際、ローカル出力元となるワイヤレス受信機（ローカル入力コネクターに何も接続されていない受信機）からの出力を、ワイヤレス受信機→本機の順に入力するように接続してください。

- **メモ** 本機と接続するワイヤレス受信機とワイヤレスマイクは、同じバンド（XL/XH/AL/AH/B）の同一グループ内でご使用ください。複数のバンドやグループを混在させて使用すると、混信、ノイズの原因になります。
- アンテナの間隔は2 m以上60 m以内にしてください。詳しくは、ワイヤレス受信機（WX-R822）の取扱説明書をお読みください。
- 同軸ケーブルは、インピーダンスが50 Ωのものを推奨していますが、75 Ωのものでも使用可能です。推奨品番は「受信感度を設定する」（11ページ）をお読みください。

# 受信感度を設定する

本機背面のフィールド感度切替スイッチ [ANT GAIN SET FIELD (dB)] とアンテナ感度切替スイッチ [ANT GAIN SET ANT (dB)] を設定することにより、アンテナの受信感度をリモート制御することができます。受信感度は、ワイヤレスマイクシステムを使用する場所と、アンテナから本機またはアンテナからワイヤレス受信機 (WX-R822：別売品) までの同軸ケーブルの長さにより設定する必要があります。

受信感度を必要以上に高く設定すると、別のワイヤレスシステムや雑音源からのノイズの混信や、複数のワイヤレスマイクの使用による混信の原因となります。以下の表を設定の目安としてお使いいただき、音切れする場合は受信感度を高くするように調整してください。また、受信感度には他にも様々な要因が影響します。必ず動作確認を行って適正な状態に設定してください。



- 重要**
- アンテナの受信感度のリモート制御は、本機またはワイヤレス受信機 (WX-R822) に直接接続したアンテナ (WX-RAX922/L、WX-RAX922/H、WX-RA922/L、WX-RA922/H、WX-RB922) に対して有効となります。その際、リモート制御ON/OFFスイッチは必ず [ON] にしてください。
  - 本機と接続するアンテナが上記以外の場合は、アンテナの受信感度のリモート制御はできません。
  - 設置環境やシステム構成により、リモート制御の信号がノイズとなることがあります。その場合は、リモート制御ON/OFFスイッチは [OFF] にしてください。
  - アンテナを直接接続しない本機のフィールド感度切替スイッチ、アンテナ感度切替スイッチはすべて [0] dBの位置に、リモート制御ON/OFFスイッチは [OFF] に設定してください。

## ● 受信感度設定の目安

(ワイヤレス受信機 (WX-R822) のレベルスケルチが [LO] の場合：WX-R822の取扱説明書参照)

ケーブル長*1	同軸ケーブル 推奨品番 (外径) *印は75Ω	使用場所 (参考)	屋外	ホール	スタジオ	会議室	宴会場
		最大 到達距離*2	90 m	30 m	20 m	15 m	15 m
		最小	10 m	3 m	2 m	2 m	2 m
50 m以内	5D-2V (φ 7.3 mm)	[FIELD(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
		[ANT(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
80 m以内	5D-FB (φ 7.6 mm)	[FIELD(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
		[ANT(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
140 m以内	8D-SFA (φ 11.1 mm)	[FIELD(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
		[ANT(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-4 dB	-4 dB
170 m以内	10D-SFA (φ 13.0 mm)	[FIELD(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
		[ANT(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-4 dB	-4 dB
220 m以内	12D-SFA (φ 15.6 mm)	[FIELD(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
		[ANT(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-4 dB	-4 dB
50 m以内	5C-2V* (φ 7.4 mm)	[FIELD(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
		[ANT(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
80 m以内	7C-FV* (φ 10.4 mm)	[FIELD(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB
		[ANT(dB)] スイッチ	0 dB	-4 dB	-4 dB	-8 dB	-8 dB

※1：同軸ケーブルを中継する場合は、中継による通過損失のため、ケーブル長が表中の値より、1中継あたり10%短くなります。

※2：到達距離とは、電波を安定して受信可能なアンテナからワイヤレスマイクまでの距離です。

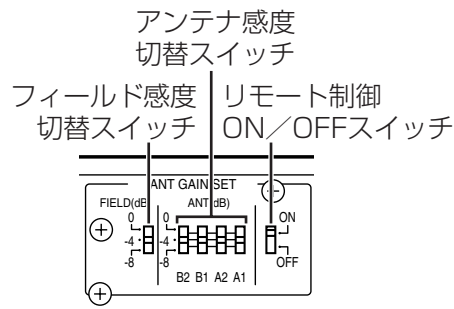
# 受信感度を設定する

## ● 音切れする場合の調整のしかた

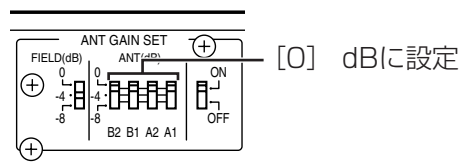
動作確認で音声途切れしてしまった場合は、まずアンテナ感度切替スイッチをA系B系とも1つ上げ、音声を確認します。アンテナ感度切替スイッチを [0] dBまで上げて音切れが解消しない場合は、フィールド感度切替スイッチを1つ上げて、アンテナ感度切替スイッチは、[-8] dB（最小の位置）の設定から確認します。

以下の手順の図は、使用する同軸ケーブルの長さが50 m以内（5D-2V）、必要な到達距離が20 mで、「受信感度設定の目安」（11ページ）の表で使用場所がスタジオの場合を例としています。実際の調整は、使用場所と使用するケーブルに合わせて行ってください。

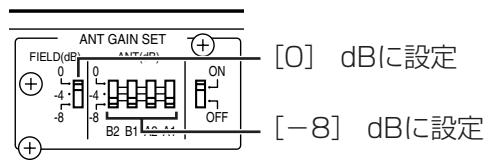
**1** 「受信感度設定の目安」を元に、背面のフィールド感度切替スイッチ、アンテナ感度切替スイッチを、それぞれ [-4] dBに設定する。また、リモート制御ON/OFFスイッチを [ON] に設定し、音声を確認する



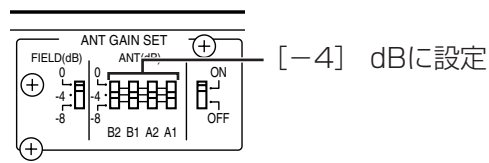
**2** 音切れする場合、アンテナ感度切替スイッチを、すべて1つ上げて、音声を確認する



**3** 音切れが解消しない場合、フィールド感度切替スイッチを1つ上げ、アンテナ感度切替スイッチをすべて最小の位置に設定して、音声を確認する



**4** 音切れが解消しない場合、アンテナ感度切替スイッチをすべて1つ上げて、音声を確認する



● 感度切替スイッチがすべて [0] dBに設定されるまで、上記の手順を繰り返して調整することができますが、その場合、受信感度は最大となり、混信も発生しやすくなります。ご注意ください。音切れが解消しない場合は、アンテナの設置場所や設置方法、アンテナの [ATT] スイッチの設定、ワイヤレスマイクの送信出力レベルの設定なども確認してください。

● 本機やワイヤレス受信機（WX-R822）が複数台ある場合、直接アンテナを接続した機器の設定が有効となります。

# 故障と思われましたら

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

ワイヤレス受信機（WX-R822）の取扱説明書もあわせてお読みください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？</li> <li>➔接続されているか、確認してください。</li> </ul>	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか？</li> <li>➔差し込まれているか、確認してください。</li> </ul>	10
ファンタム電源表示灯が赤色に点灯する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファンタム電源の異常供給状態を示しています。BNCコネクター処理部でショートしていませんか？</li> <li>➔BNCコネクター部を確認してください。異常がある場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。</li> </ul>	10およびアンテナ説明書
ファンタム電源表示灯が消灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>●BNCコネクター処理部の接続不良や同軸ケーブルの断線はありませんか？</li> <li>➔BNCコネクター、同軸ケーブルを確認してください。（接続のない場合は消灯状態です。）</li> </ul>	10およびアンテナ説明書
受信がまったくできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●システムの中に、電源がOFFになっている本機やワイヤレス受信機がありませんか？</li> <li>➔運用中は、システムのすべての機器の電源をONにしてください。</li> </ul>	6および各機器の説明書
時々受信できなくなる、またはノイズが発生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近くにノイズ源となる機器がありませんか？</li> <li>➔ワイヤレス機器および同軸ケーブルから遠ざけてください。</li> </ul>	8
混信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィールド感度切替スイッチ、アンテナ感度切替スイッチの設定を間違えていませんか？</li> <li>➔設定を確認してください。</li> </ul>	11~12
音切れする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナが直接接続されている本機のローカル入出力コネクターは、正しく接続されていますか？</li> <li>➔接続を確認してください。</li> </ul>	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィールド感度切替スイッチ、アンテナ感度切替スイッチの設定を間違えていませんか？</li> <li>➔設定を確認してください。</li> </ul>	11~12

## 故障と思われましたら

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

### 症 状

電源コードの被ふくが  
傷んでいる

使用中、電源コード・  
コネクター・電源プラ  
グの一部が熱い

使用中、電源コードを  
曲げたり伸ばしたりす  
ると、温かくなったり、  
ぬるくなったりする

### 原 因 ・ 対 策

- 電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。  
そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。  
直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してく  
ださい。



# 仕様

## ●基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	8 W
使用温度範囲	-10 °C~+50 °C
寸法	幅 480 mm 高さ 44 mm (ゴム足含まず) 奥行き 280 mm (突起部含まず)
質量	約3.6 kg
仕上げ	前面パネル：黒色アルマイトヘアライン (マンセルN1近似色) 本体：黒色塗装鋼板 (マンセルN1近似色)

## ●入出力

混合分配性能	A系・B系各2入力、A系・B系各4分配出力
通過周波数帯域	<245.975 MHz~250.350 MHz> 適合アンテナ：WX-RAX922/L (779.125 MHz~783.500 MHz) WX-RAX922/H (783.625 MHz~787.875 MHz) <257.975 MHz~262.350 MHz> 適合アンテナ：WX-RA922/L (797.125 MHz~801.500 MHz) WX-RA922/H (801.625 MHz~805.875 MHz) WX-RB922またはWX-RB910 (806.125 MHz~809.750 MHz)
通過利得	0 dB
アンテナ入力	50 Ω A系・B系各2入力 BNCコネクタ ・ファンタム電源出力12 V 70 mA (最大) ・ローカル出力44 MHz~45 MHz帯
アンテナ出力	50 Ω A系・B系各4出力 BNCコネクタ
アンテナ制御方式	DTMF制御方式 (ファンタム電源に重畳) 制御可能アンテナ：WX-RAX922/L、WX-RAX922/H、 WX-RA922/L、WX-RA922/H、 WX-RB922
ローカル入力	50 Ω BNCコネクタ 44 MHz~45 MHz帯
ローカルスルー出力	50 Ω BNCコネクタ 44 MHz~45 MHz帯
受信感度切替	フィールド感度：-8 dB/-4 dB/0 dB アンテナ感度：-8 dB/-4 dB/0 dB

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレス混合分配器の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。  
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

13～14ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを「OFF」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ご連絡いただきたい内容

製品名	ワイヤレス混合分配器
品番	WX-R901
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年 月 日	品番	WX-R901
	販売店名	電話（ ）	—	

## パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410